



高島学園

中学校だより 【第5号】

令和6年 7月 1日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

時間は過ぎゆき、あっという間に7月です。日々が充実しているということだと実感しています。素晴らしい1学期になっています。これから20日間、この1学期の締めくくりをしっかりとしてほしいと思います。

「運びましょうか」

こう言って、玄関と校舎裏を何度も往復し、プランターを運んでくれる生徒がいました。また、「持っていくわ」と、担任の持つ集配かごを運ぶ生徒もいます。そして、また、「何かすることありますか」と、用務員さんに声をかける生徒もいます。

ある日の掃除の時間、ある教室を見渡すと教師はいませんが、ほうきではいている生徒、雑巾で床をふいている生徒、黒板をふいている生徒など、10人ほどが自分たちで掃除をしています。

今年はそうじが週2回となりました。当初、校内のごみ箱のごみがあふれるようになっていました。ところが、6月になり、環境委員会が、放課後にごみ回収を始めたのです。おかげで校内のごみ問題が解消されています。他にも、日常生活にある課題をなんとかしようと動いている委員会もあります。また、大溝城清掃ボランティアへ多くの生徒が参加しようとしています。

学校目標「主体性の育成」を目指し、4月から、保護者の皆さんや地域の皆さんのご理解とご支援のもと、体育祭、修学旅行、職場体験をはじめとする様々な活動を行ってきました。

冒頭でお伝えしたように素晴らしい1学期になっています。生徒たちは様々な成長を遂げてきています。



Shining Smile 勝利の栄冠をつかみとれ

6月は多くの行事がありました。まず、体育祭です。体育祭は学校のまとまりを創る重要な行事です。1組団長、2組団長が気合を入れて、まとめようと頑張りました。当日、クラス一体となり、笑顔一杯で勝利を目指してやりぬきました。喜びやくやしさを味わいましたが、お互い讃え合う姿から『勝利の栄冠』とは何かを感じとってくれたと思います。



「こんな体育祭は初めてです。」

と、閉会式で話すと、「いつも同じことを言ってる」と、生徒から笑われてしまいました。しかし、それもそのはず、高中の学校行事は進化しています。体育祭当日、早朝の準備から終わりの後片付けまで、主体的に動き、全てを自分たちで運営し、学園の全児童生徒のための体育祭を創りました。



8年目のコミュニティ・スクール

昨年度、今の9年生が8年生の時に進路学習を始めるにあたり、進路座談会を持ちました。高島市内各地から多くの方が来てくださり、生徒の不安に思うことや悩み事などを聞いてくださいました。その時に来てくださった方々が、見守りに来てくださっています。

子どもたちの様子から、より良い育ちに向けて話することができるのは、とてもありがたいことです。「できることがあれば、なんでもしますよ。」と言ってくださることに、心から感謝しています。

一学期を終えようとしていますが、引き続きよろしくお願いします。

主体的な学び

授業を回ると、生徒それぞれの持っているプリントが違い、それぞれ違うことをしているクラスがあります。自習かと思いきや、教員が教室にいます。どうやら、生徒は、それぞれが自分に合った課題を選び、自ら学習を進めていました。わからないことは、教科書を振り返ったり、タブレットで調べたり、友達や先生にアドバイスをもらいに行ったりしています。

「単元内自由進度学習」といって、自分の興味関心を知り、自分のペースで学習し、力を伸ばす学習方法です。まさに「主体的な学び」です。

最高のパフォーマンス

パリ五輪に出場する男子バレーボールのキャプテンが、インタビューで「パリ五輪では、最高のパフォーマンスができるよう準備します。」と言っていました。

「最高のパフォーマンスのための準備」とは何か。この選手は、自分の体づくりをすごく大事にしているそうです。それから、チームでの調整。試合当日は、「ウォームアップ」に時間をかける、それが最高のパフォーマンスにつながると話していました。

スポーツや勉強など、最高のパフォーマンスを目指すために、どんな時間を費やすか。それによって、パフォーマンスのクオリティが変わってきそうです。1学期のまとめの時が来ました。9年生にとって最後の大会が目前です。